



第51回 神奈川県母と女性教職員の会

—子どもたちに平和な未来を—

☆民主教育を推進しましょう

☆子どもたちの幸せのために母親と女性教職員が手をつなぎましょう

★お母さん、日本の子どもを守りましょう。

★お母さんの体を守りましょう。

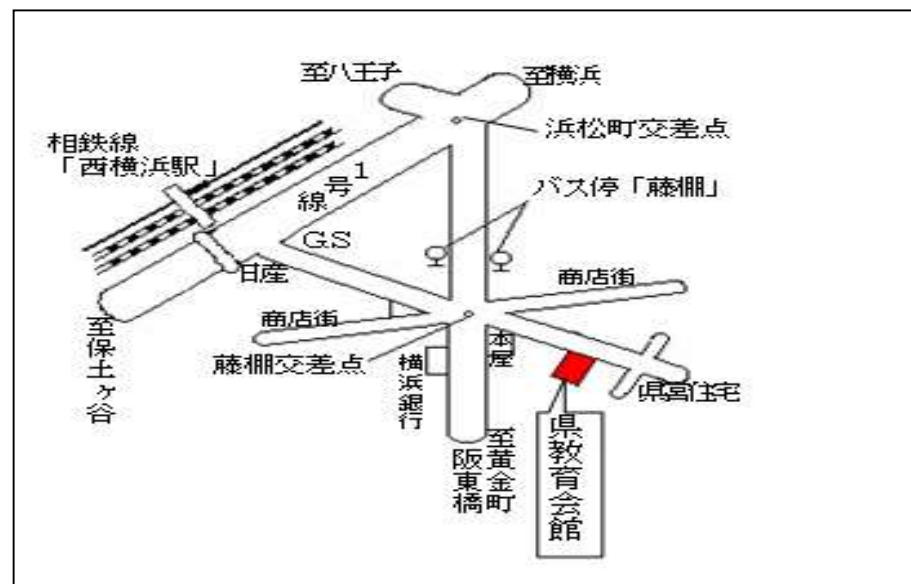
★憲法を変えないようにしましょう。

1954年、第3回全国婦人教員研究協議会に集まった女性教職員たちは、その最終日に上記の3項目を柱とするアピールを採択しました。戦後の貧困の中で学校へも行けない子どもたち、過労や栄養失調で病気になる母親・女性教職員も多くいた時代でした。

それから66年、子どもたちをとりまく状況は厳しく、子どもの貧困、児童虐待、ネット犯罪などももんだいになっています。教育、女性、平和などについて、ぜひ一緒に考えてみませんか。

保護者のみなさんと私たちが手をつなげば、それは国を動かす力となります。神奈川の保護者のみなさん、手をつないで立ち上がりましょう。

会場案内図



●とき 2020年2月8日(土)

受付開始 12:30 開会 13:00

記念講演 13:30 閉会 16:45

●ところ 神奈川県教育会館

(横浜市西区藤棚町2-197)

主催 神奈川県母と女性教職員の会実行委員会

～神奈川県教育会館までのアクセス～

・相鉄線「西横浜」駅より徒歩10分

・横浜駅東口より

市営バス102系統にて「藤棚」下車 徒歩5分

・京浜急行線「黄金町」駅より

市営バス102系統・68系統にて「藤棚」下車 徒歩5分

・市営地下鉄線「坂東橋」駅より

市営バス102系統 68系統にて「藤棚」下車 徒歩5分

日程

12:30

受付

13:00

開会行事

13:30

記念講演

15:00

休憩

15:15

グループ協議

16:45

閉会

記念講演

「戦争体験を継承していくこと

～東京大空襲・戦災資料センターから～

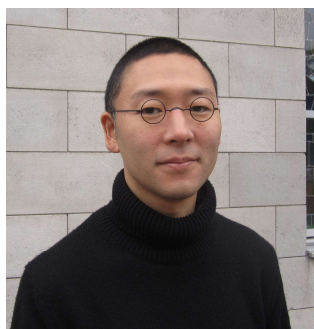
山本 唯人 さん

(青山学院女子短期大学助教)

～プロフィール～

1972年、東京生まれ。

青山学院女子短期大学助教



専門は社会学、
空襲・災害研究、
戦争・災害記憶の継承論。

2005年より国立資料館、東京大空襲・戦災資料センターの研究者として、東京大空襲の研究・展示、イベントの企画、ボランティアの育成、展示リニューアルなどに携わる。

任意団体・次世代継承研究会世話人として、戦争体験者が減少していく時代の「継承」のあり方を、研究・実践している。

～戦争の記憶を風化させないために

わたしたちができることは・・・～

70数年前、戦争によって多くの命が犠牲となりました。多くの方が心に深い傷を背負いました。時が経ち、戦争体験者が刻一刻と少なくなる中、戦争の記憶の風化や平和意識の希薄化が懸念されます。

人々に大きな苦しみと悲しみをもたらした戦争を二度と繰り返ささないためにも、私たち一人ひとりが戦争の記憶や体験を知り、平和への願いを受け継いでいかなければなりません。

戦争の記憶を風化させないために、戦争体験を継承していく大切さについて山本唯人さんにご講演をいただきます。そのあと、グループ協議を用意しています。

子どもたちの平和な未来のために私たちが今できることは何か、行動するきっかけになることを願っています。

連絡事項

☆自家用車・自転車での来場はご遠慮ください。公共交通機関をご利用ください。

☆ゴミは各自お持ち帰りください。

☆お子様と一緒に参加されても結構です。

